

4月分 報告書

調査実施日：2018年4月11日（水） 時間：9:30～11:30 天候：晴れ 風力：強

調査員：橋本・多田・祝

S...さえずり C...地鳴き V...姿 O...その他（食痕など）

	種名	数	観察記録					備考（観察時の状況・具体的な行動など）	繁殖の可能性		
			齢	S	C	V	O		繁殖行動	ランク	コード
1	カルガモ	2	成鳥						隣接する公園の池を泳いでいた。		
2	キジバト	6	成鳥								
3	コゲラ	2	成鳥						2羽一緒に行動していた。		
4	アオゲラ	1	成鳥							B	30
5	ハシブトガラス	6	成鳥								
6	シジュウカラ	8	成鳥					餌運び	チョウの幼虫と思われる餌をくわえていた。	B	30
7	ツバメ	1	成鳥						上空をさえずりながら通過。	D	60
8	ヒヨドリ	7	成鳥								
9	ウグイス	1	成鳥							B	30
10	エナガ	2	成鳥								
11	ムクドリ	10	成鳥								
12	スズメ	2	成鳥								
13	ハクセキレイ	1	成鳥								
14	シメ	2	成鳥								
15	イカル	2	成鳥						2羽一緒に行動していた。		
16	カワラバト	2	成鳥						上空を通過。		
17	ガビチョウ	1	成鳥							B	30



写真①：イカル



写真②：アオゲラ



写真③：猛禽類の食痕



写真④：カラス類の卵殻

結果	在来種	15	種
	外来種	2	種
	合計	17	種

コメント	全般：風が強く、鳥たちの活動はあまり活発ではなかった。本格的に繁殖期に入りさえずりがよく聞かれた。イカル（写真①）は渡り途中に立ち寄った可能性がある。
	繁殖の可能性について：アオゲラ（写真②）、シジュウカラ、ウグイス、ガビチョウについては、さえずりが聞かれたことから、繁殖の可能性が高いBランクとした。また、今回シジュウカラ成鳥による餌運びを確認したが、営巣場所が確実に調査地内なのかどうかは不明。
	その他：地面に猛禽類の食痕と思われるキジバトの羽（尾羽から同定）が散乱しているのを発見（写真③）。これまでに調査地内で記録がある猛禽類はツミとハヤブサだが、未記録のオオタカという可能性もある。また、卵殻（写真④）は、大きさや色柄からハシブトガラスかハシボソガラスのものと思われる、公園内に営巣している可能性が高い。